

またnote. 市民ライターのレポート



レポートの全文は北上市の都市ブランドサイト「きたかみリズム」をご覧ください。



この記事のライターさん

赤平 恵里さん

花や風景、おいしいものが大好きな2児の母。



皆さんは「地域コーディネーター」をご存じでしょうか。本年度から市が実施している取り組みで、保護者や地域の人が依頼を受け、校外学習の見守り活動など、子どもたちの学びをサポートするものです。

9月に黒沢尻北小の3年生が地域安全マップを作成した際には、コーディネーターも同行。児童たちは交通上の危険箇所を真剣に点検しますが、車に気付かなかったり、車道側にはみ出すことも。「しっかり手を挙げて渡ろうね!」「広い歩道に出てから記録しよう!」とコーディネーターが声を掛けます。こうして無事2日間のフィールドワークが終了し、マップが完成。毎日徒歩で登下校する児童たちならではの視点が盛り込まれました。

学校は単に知識を詰め込むための場所ではないと私は思います。愛郷心、他者への思いやり、優しさなどを地域の皆さんと一緒に温め、育んでいけたら素敵ですね。



(上)まさに「全集中の呼吸」で危険箇所を記録!
(下)地域の「子ども110番の家」を訪問し、感謝の気持ちを伝えました。

こちら「きたかみE&Beエフエム」です



インターンシップで地域のお店取材しました。人との関わりを通してさまざまなことを学ばせてもらっています。



いいあべ
E&Beエフエム88.8MHz
(おでんせプラザぐるーぷ内)

アプリ「FM++」でも聴取
できます

☎ 0197-62-8833

✉ e-be@fm888.jp



ホームページ



Facebook



twitter

皆さまはじめまして、西野花菜です。現役大学生兼きたかみE&Beエフエムのアシスタント



パーソナリティ紹介

西野 花菜さん

「ON! ラジ」(水曜16時~19時)を担当。リスナーから本の話題がメッセージと一緒に届くことが楽しみです。

パーソナリティとして3年ほど活動しています。

現在はON! ラジという夕方の生放送番組に出演中です。「にしのんの放課後図書室」というコーナーを初出演時から担当し、気になった本や漫画をゆるくざっくりと紹介しています。リスナーさんの好きな本、お勧めの本も教えてもらいながら、毎週楽しく本にまつわるお話をしています。大学生活では、岩手県立大学4年生として地域コミュニティなどをテーマに研究しています。ラジオで話した経験と大学の講義で学んだことを生かしながら、パーソナリティと学生生活を両立して頑張っています!

今後も20代の目線できたかみE&Beエフエムを盛り上げていきたいと思っています。ラジオで私の声を聴いた時は、気軽に「にしのん!」とメッセージを送っていただけたらうれしいです。

まちの話題

市内の話題を紹介

ホール中に響く全国金賞の「上中サウンド」 上野中吹奏楽部定期演奏会

11/3

第37回上野中学校吹奏楽部定期演奏会は、さくらホール大ホールで開催されました。

同部は第69回全日本吹奏楽コンクール中学校の部(10月23日、名古屋市)で3年ぶり2度目となる金賞を受賞。その報告も兼ねた同演奏会では、同部OBや黒沢尻北小吹奏楽クラブとの合同演奏も披露し、圧巻のステージで約1,200人の観客を楽しませました。

来場した高橋和歌さん(北鬼柳)は「上中サウンドは本当に素晴らしかった」と感動していました。



2大会連続で日本一に輝いた歌声を披露 黒沢尻北小合唱部受賞報告会

11/9

第74回全日本合唱コンクール全国大会小学校部門(11月6日、埼玉県所沢市)で最高賞に輝いた黒沢尻北小学校合唱部の受賞報告会は、同校で行われました。

全校児童が集まった体育館で同大会の課題曲と自由曲を披露。出場32団体のうち、最高賞の埼玉県知事賞に輝いた美しいハーモニーを響かせました。

宇津志理咲部長(6年)は「コロナ禍でもこのような成績を残すことができたのは、先生方と学校の皆さんの応援があったからこそ」と感謝を述べました。

平成30年の設立から3周年 「Origin～帰れる所～」

10/28

若者セミナー「Origin～帰れる所～」の3周年を記念したオープンセミナーは、北上地区合同庁舎で開かれ、利用者や市民など約30人が参加しました。Originは社会への関わりに悩む若者が集う場としてジョブカフェさくらが設立したもの。引きこもりの経験を持つ小菅孝さん(31歳・本通り)は「一歩踏み出したら前に進んでいった」と自身の体験談を語りました。



北上の今と昔を巡る フォトウォークラリー

11/3

きたかみフォトウォークラリーは、詩歌の森公園を主会場に実施されました。

市制施行30周年記念市民参加イベント企画会議が企画・運営。市内の小学生58人と保護者が昔の写真と照らし合わせながら各所を徒歩で巡りました。寺澤李覚君(飯豊小2年)は「あまり通ることがない道を歩いて、いろいろなことを学べた」と目を輝かせました。



当市の新しい土産品が誕生 kokokaraきたかみ

11/22

市内で生産されたひとめぼれを使用した本格米焼酎「kokokaraきたかみ」の販売が開始されました。これは新型コロナウイルスの影響で米の在庫を過剰に抱えた当市の米農家を支援しようと、(一社)北上観光コンベンション協会と㈱フロムゼロが企画したもの。米焼酎は天星酒造(鹿児島県大崎町)と共同開発され、当市のふるさと納税の返礼品になっているほか、北上観光物産館アクセスで販売されています。

